

活用方針

VLP取組概要

■「学びのセーフティネット事業」の概要

- 所管：東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課
- 概要：
NPO等の外部機関と連携して、不登校等の課題を抱える都立高校生等に対して、日常生活の中で心のよりどころとなる居場所を提供するとともに、個に応じた支援を通じて学校への復帰や卒業等を目指す事業。R7年度は都内4箇所を実施。

支援内容

| | |
|---------------|------------|
| 生徒同士の交流の機会の提供 | 学習支援 |
| 進路相談・生活相談の実施 | 就労に向けた支援 等 |

- 「学びのセーフティネット事業」対象者：
都立通信制課程の生徒、都立高校中途退学者、
不登校等で学校復帰や卒業を望む生徒 など

■VLP対象生徒等

- 「学びのセーフティネット事業」登録者のうち希望する方

■活用方法・活用の狙い

- 拠点への来所の意味はあるが、体調や家庭状況（ヤングケアラー等）から、来所が難しい生徒等に対し、VLPフロア内でコミュニケーションを図ることで、拠点以外の場所でもNPO職員から支援を受けられる機会を確保する。

■運営時間

- 東部Ⅰ：木曜16-17時 中部：金曜18-19時
- 東部Ⅱ：水曜18-19時 西部：不定期

活動・取組み内容

活動・取り組み内容

令和7年11月 お仕事座談会

第1回（6月開催）は1拠点で対面のみで実施し、第2回として対面とVLPのハイブリッド形式で実施した。

VLPには、学びのセーフティネット事業の3拠点の生徒が参加し、交流の場として機能した。

大学生スタッフや社会人スタッフがアルバイトの体験談を語ったり、生徒からチャットやその場で寄せられた質問に答えたりしながらリラックスした雰囲気で開催された。参加生徒からは、「悩みを共有できた」「進路に向けての参考になった」との声が寄せられた。

令和7年11月 「桃太郎電鉄教育版」の利用開始

希望した拠点にID・パスワードを貸与し、VLPコンテンツの一つである「桃太郎電鉄教育版」の利用を開始した。



成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ お仕事座談会を実施し、アルバイト経験や仕事選びの悩みを共有する場を設けた。大学生や社会人スタッフが体験談を語り、参加生徒からは安心感や参考になったとの声が寄せられた。
- ✓ VLPを知らなかった生徒が多かったが、一緒にVLPを実施してみることで生徒の興味関心の幅が広がった。
- ✓ VLPを活用してチャット交流が生まれ、対面より気軽に会話できた。これによりコミュニケーションへの抵抗が減り、参加しやすい環境づくりに役に立った。

利用者の声



- 外出イベントで会ったほかの拠点の生徒とVLPを通して、会話することが出来て良かった。
- 音声ではなく、チャットでも会話できるのが良かった。
- 直接質問することが苦手だが、チャットを活用することで質問できた。



- PCのスペックによって動作が重くなることや、スマホでは接続できない場合がある点が課題である。拠点に来られない生徒には有用である一方、利用環境に左右される難点がある。
- 他拠点の生徒やスタッフとの交流に活用できたため、引き続きイベントでの効果的な方法を検討していきたい。

次年度以降の方針

イベントでのVLP活用

次年度の学びのセーフティネット事業受託事業者と相談の上、VLPの利点を生かしたイベント開催を中心に活用する。実施に当たっては、高校生世代が興味・関心を持てるような内容のイベントとし、対面での交流が苦手な生徒等も気軽に参加できるよう、VLPと対面のハイブリット形式で行うなど、開催の形式も工夫をする。体調や家庭状況から、拠点への継続的な通所が困難な生徒がいる場合は、仮想空間での居場所としての提供も引き続き行う。